

ABEJA, Inc. Presents

「人工知能の眼」が伝統の 技の継承をサポートする

#abejasix

質問、コメント、
フィードバックを
お寄せください

本日のゴール

- 課題の理解： 伝統工芸における技術伝承の難しさ
- 人工知能の活用： 最も重要な作業工程である「浸漬」を人工知能でサポート
- 今後の展開： 「人工知能の眼」の今後の展開



株式会社南部美人様



- 1972年岩手県生まれ。南部美人五代目蔵元。
- 東京農業大学醸造学科卒業後、南部美人久慈酒造合名会社に入社。
- 2008年 母校である東京農業大学の経営者大賞を受賞、最年少で客員教授に就任。
- 雑誌など数々のメディアを積極的に活用し、世界へ向けて日本酒の文化的価値の向上に貢献。

代表取締役社長 五代目家元
久慈 浩介 氏



UMAMI

匠から生み出される口福、
伝統と技術の結晶

TAKUMI

昔の最先端技術“伝統工芸”から
現在の先端技術まで

日本中に点在する素晴らしい人、モノを繋ぎ、線にする

そしてその線をつなぎ面にする、面を組み合わせ立体にする

立体が、自立性、相互作用性をもつように組み立てていきます

匠が生み出した、美しい“もの”や“世界”に

最新のテクノロジーと新たな概念を取り込み

あいまを繋ぎ、新しい素敵な価値を創出する事を

imaの使命として取り組んでいます

株式会社ima様



代表取締役CEO
三浦 亜美 氏



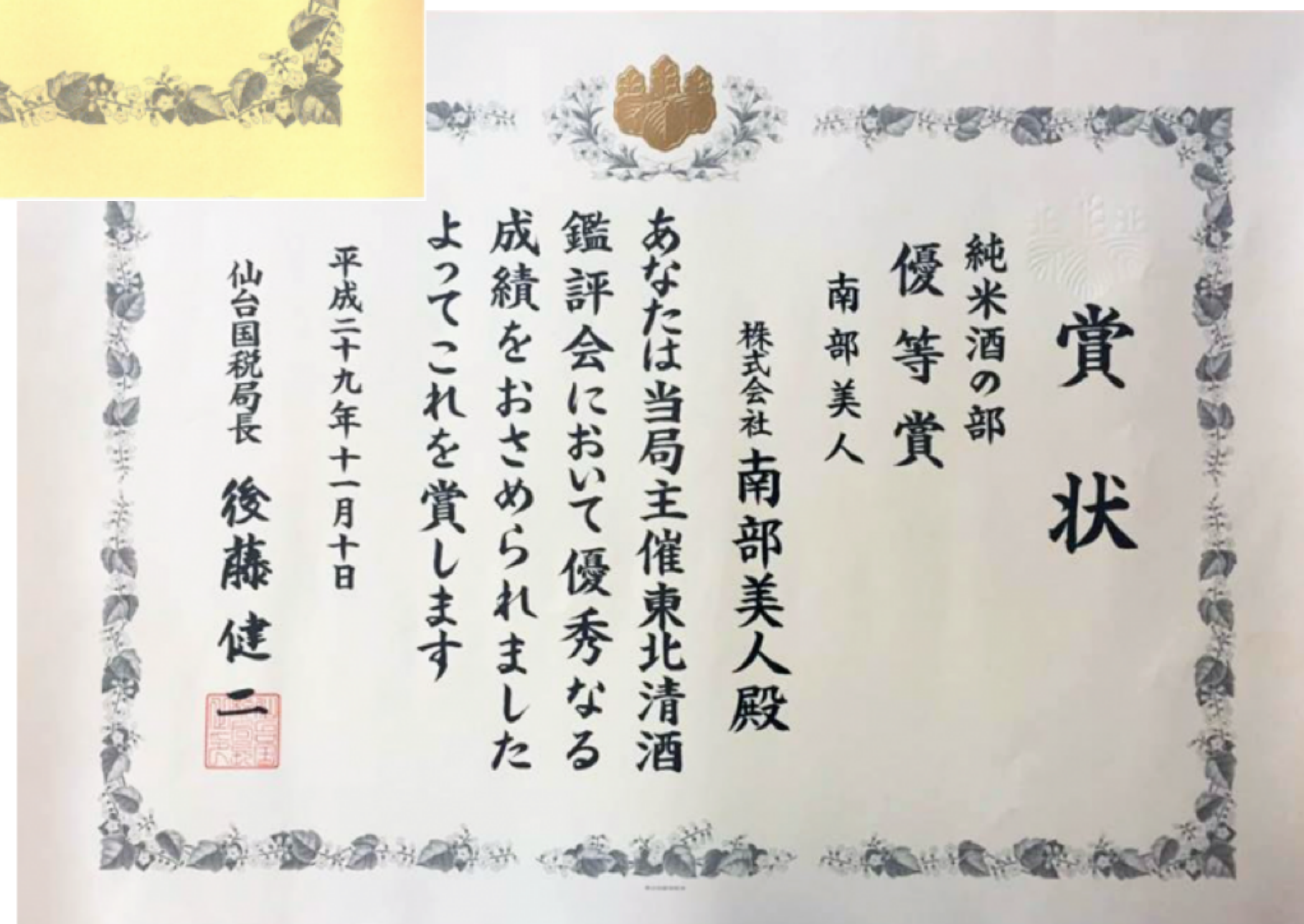
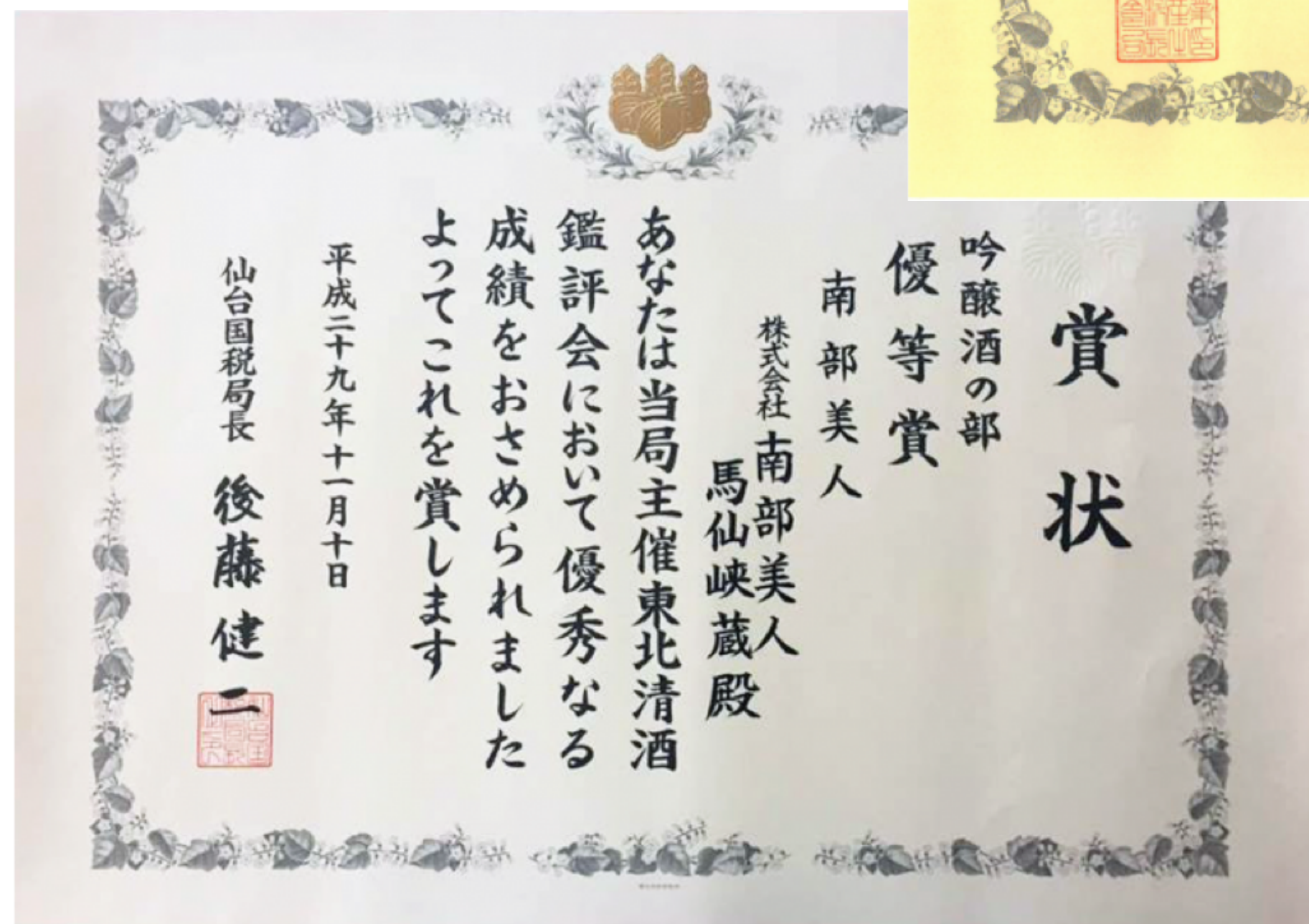
- 2013年 株式会社ima（あいま）を立ち上げ。
- “日本のUMAMIとTAKUMIを世界へ”をキーワードに日本酒、伝統工芸品、ユニークな技術等の海外展開支援を行う。
- 2016年 一般社団法人awa酒協会を立ち上げ代表理事に就任。
- 2017年 つくば市まちづくりアドバイザーに就任。



1. 課題の理解



品質管理



綺麗で美しい酒を

つくりたい

経験・勘



杜氏（製造部）
松森 淳次

人から人への

支援

技をどう伝えるか？

「人工知能の眼」

2. 人工知能の活用

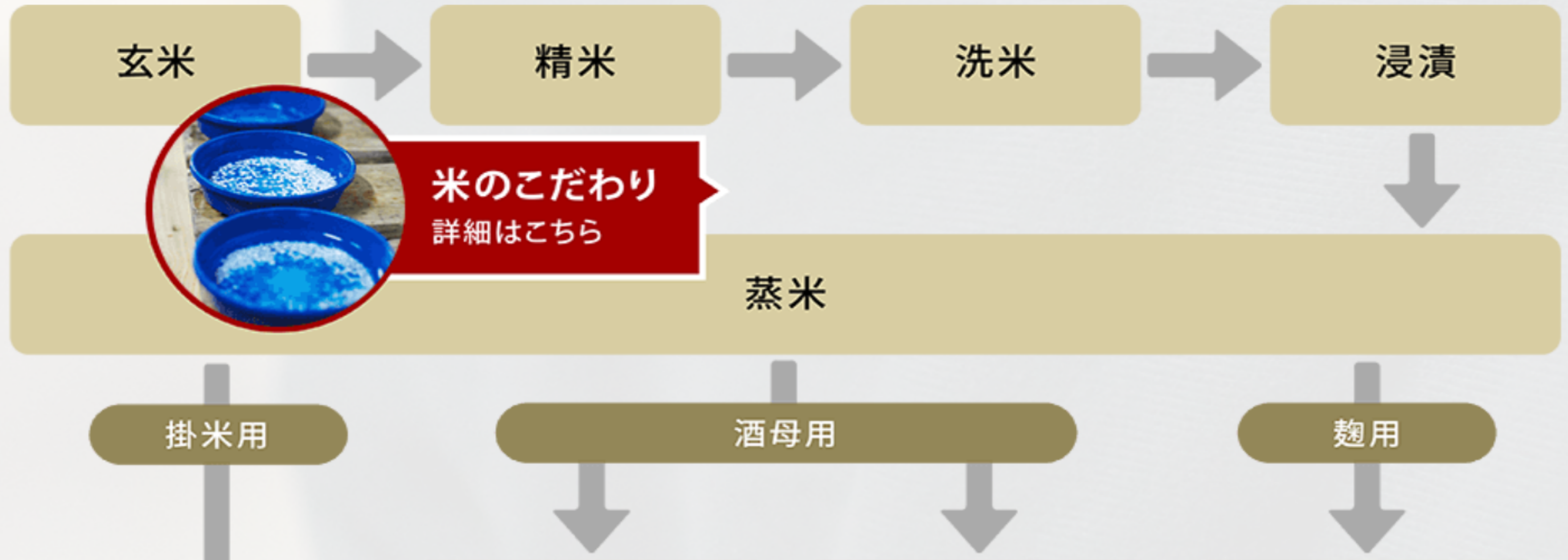


熟練技の模倣



求められる正確性

南部美人の酒づくりの工程とこだわり



米



山田錦35%



美山錦70%



水

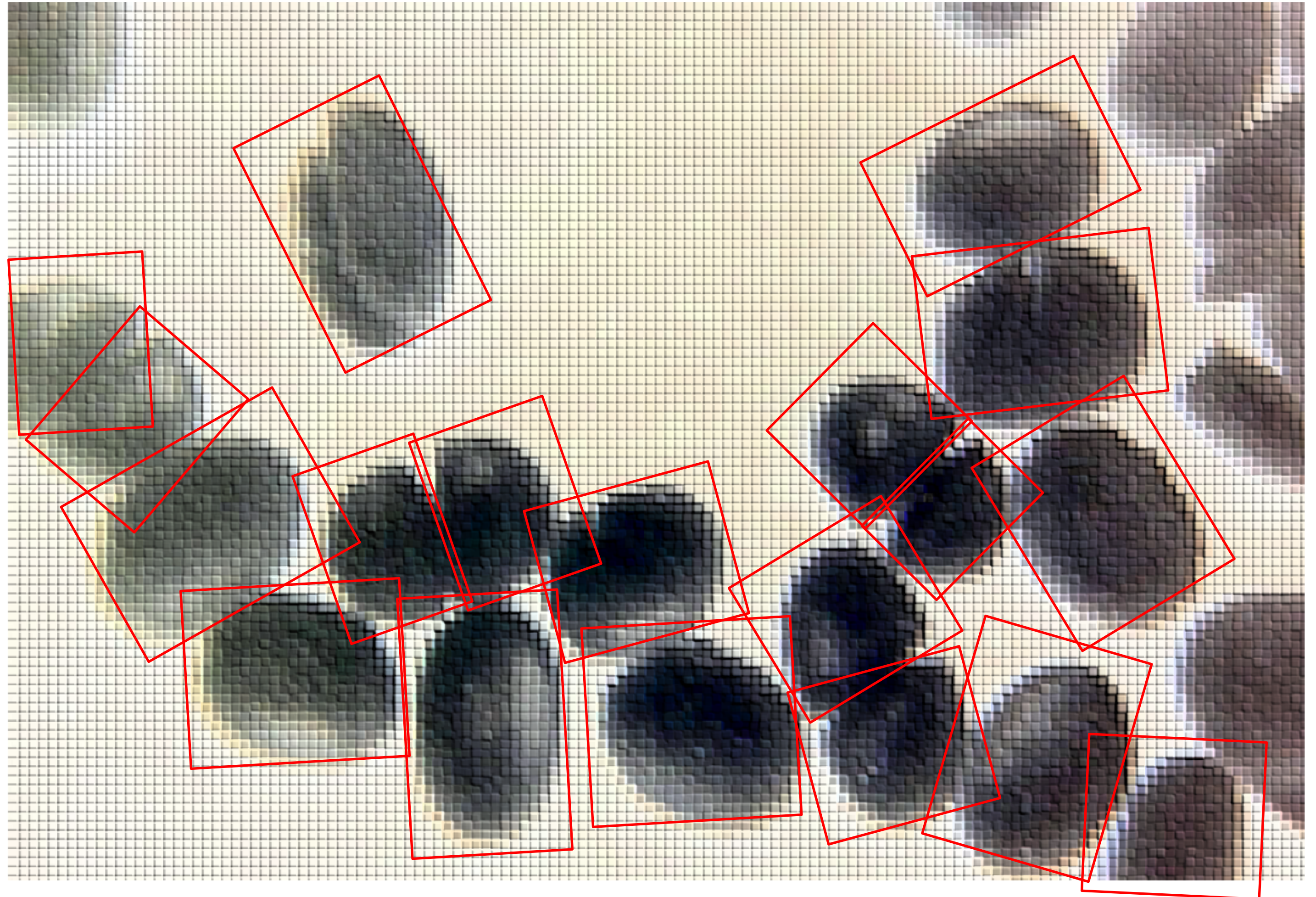
重なり合う複雑な条件





人工知能の活用

数値化 可視化 再現性



※株式会社imaにて特許出願済

酒米の吸水による変化



※50倍速

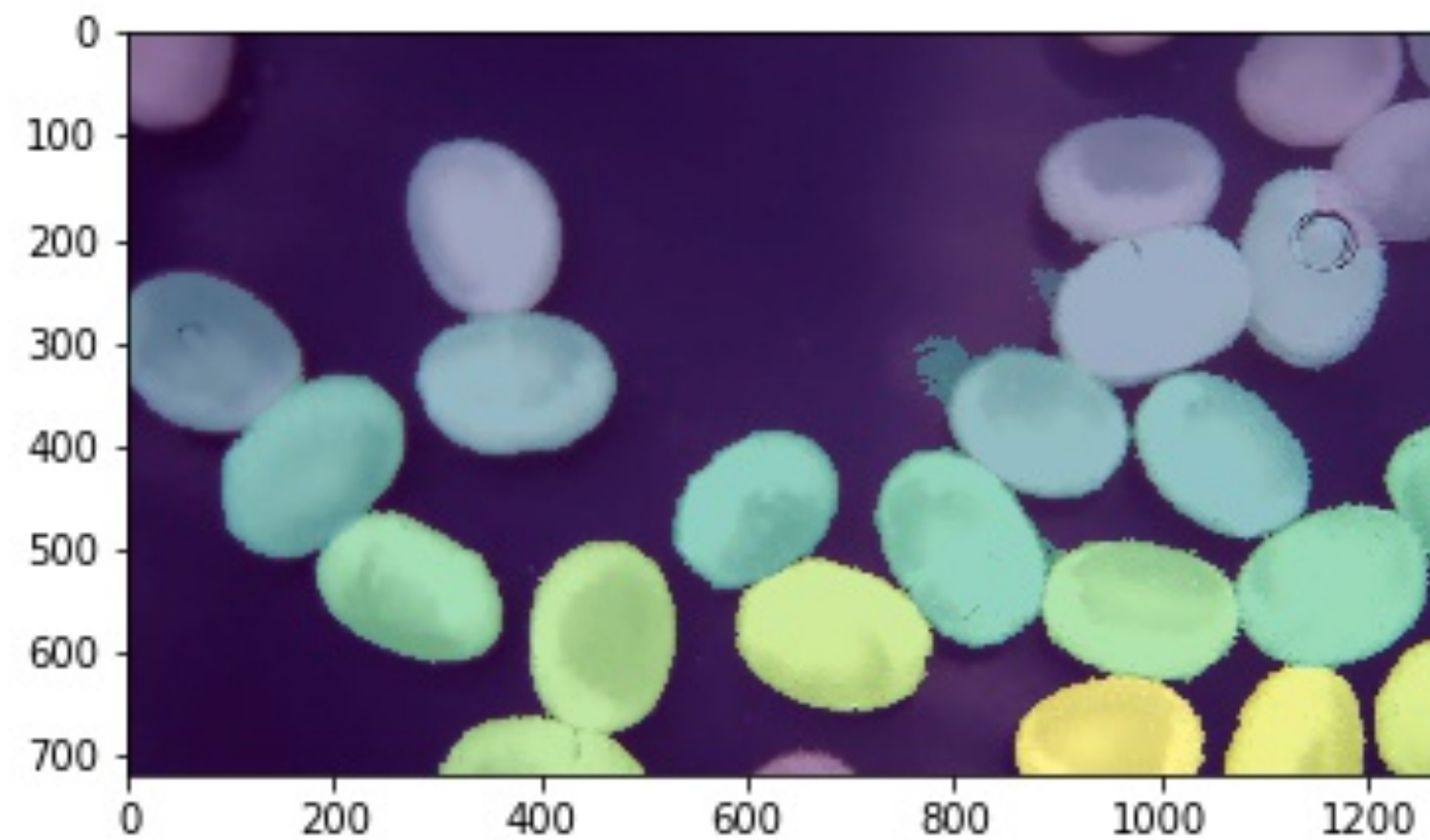
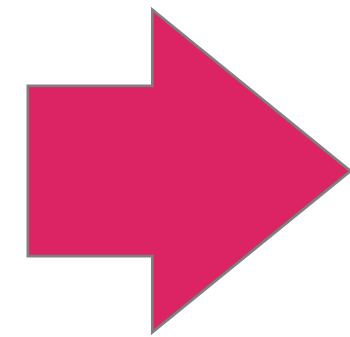


熟練者へ

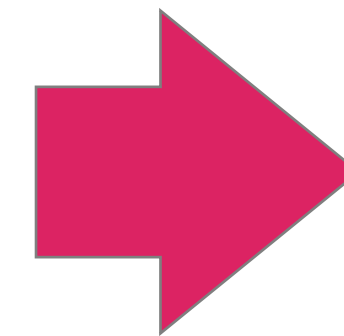
PoCから試作開発へ



基礎データ取得
(Proof of Concept)




データの評価
(ABEJA Platformの活用)



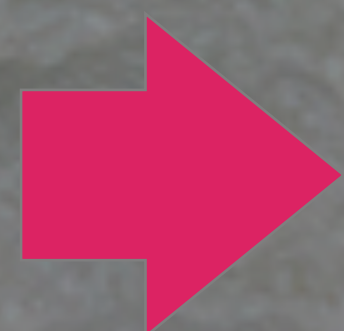
デバイスの試作

3. 今後の展開

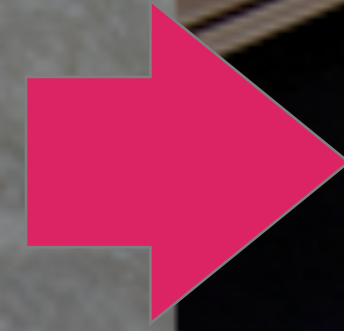
「人」のサポート



データ
収集



数値化
可視化



共通
ナレッジ



販売



UMAMI

匠から生み出される口福、
伝統と技術の結晶

TAKUMI

昔の最先端技術“伝統工芸”から
現在の先端技術まで

日本中に点在する素晴らしい人、モノを繋ぎ、線にする

そしてその線をつなぎ面にする、面を組み合わせ立体にする

立体が、自立性、相互作用性をもつように組み立てていきます

匠が生み出した、美しい“もの”や“世界”に

最新のテクノロジーと新たな概念を取り込み

あいまを繋ぎ、新しい素敵な価値を創出する事を

imaの使命として取り組んでいます

文化工学へ

本日のゴール

- 課題の理解： 伝統工芸における技術伝承の難しさ
- 人工知能の活用： 最も重要な作業工程である「浸漬」を人工知能でサポート
- 今後の展開： 「人工知能の眼」の今後の展開

ご質問は
ASK the Speaker
コーナーで

